

# 2026年4月のガス料金について

2026年2月27日

蒲原ガス株式会社

当社は、2026年4月検針分に適用する従量料金単価を、1m<sup>3</sup>あたり下表のとおり調整いたします（詳細は別紙参照）。

今回のガス料金の調整は、2025年11月～2026年1月のLNG（液化天然ガス）平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

また、政府による電気・ガス料金負担軽減支援事業（※）の支援額が1m<sup>3</sup>あたり6円に縮小されたことを反映しております。（2026年3月検針分の政府支援額は1m<sup>3</sup>あたり18円）

※詳細は資源エネルギー庁の「電気・ガス料金支援 特設サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

2026年3月検針分からの調整額	+13.56円/m <sup>3</sup> （税込）
	【内訳】
	・平均原料価格の変動分 : +1.56円/m <sup>3</sup> （税込）
	・政府支援額の縮小分 : +12.00円/m <sup>3</sup> （税込）

月間のガスご使用量が47m<sup>3</sup>の標準的なご家庭では、2026年3月適用料金と比べて、1か月あたり638円（税込）の引き上げとなります。

なお、2026年4月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>

蒲原ガス株式会社

総務部 総務課 担当 小杉

TEL 0256-72-3337

<別 紙>

## 料金表（2026年4月）

### ●一般ガス供給約款料金

（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

2026年3月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり  
13.56円（税込）の引き上げとなります。

なお、従量料金単価には、政府による電気・ガス料金負担軽減支援を踏まえた1m<sup>3</sup>あたり  
6円（税込）の値引きが反映されております。

また、基本料金は変わりません。

（税込）

2026年3月検針分からの 調整額	基準従量料金単価との差額 (値引き反映後)
+13.56円/m <sup>3</sup> （税込）	△35.29円/m <sup>3</sup>

### 【一般ガス供給約款料金表】

（税込）

	1か月のご使用量 (適用区分)	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価（1m <sup>3</sup> あたり）	
			2026年4月検針分	(基準従量料金)
料金表A	0m <sup>3</sup> ~ 25m <sup>3</sup>	660.00 円	143.01 円	178.30 円
料金表B	26m <sup>3</sup> ~ 250m <sup>3</sup>	924.00 円	132.45 円	167.74 円
料金表C	251m <sup>3</sup> ~	2,123.00 円	127.66 円	162.95 円

ガス料金は、検針日の翌日から20日以内（早收料金適用期間）にお支払いいただく場合には、早  
收料金となります。早收料金適用期間を過ぎてお支払いいただく場合には、遅收料金（早收料金を  
3%割り増しした金額）となります。

### 【ガス料金の計算式】

早收料金 = 基本料金（税込） + 従量料金単価（税込） × ご使用量

消費税等相当額 = ガス料金 × 消費税率 ÷ （1 + 消費税率）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

（税込）

1か月 ご使用量	2026年4月 適用料金	2026年3月 適用料金	増減額	増減率
47 m <sup>3</sup>	7,149 円/月	6,511 円/月	+638円/月	+9.8%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1ヵ月あたり平均（2016年～  
2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2025年11月～ 2026年1月原料価格	2025年10月～ 2025年12月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	85,940 円/t	83,930 円/t	123,030 円/t
平均原料価格	86,950 円/t	84,920 円/t	124,480 円/t

### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2025年11月～2026年1月貿易統計値)} \times 1.0118 \\
 &= 85,940 \text{円/t} \times 1.0118 \\
 &= 86,954.092 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 86,950 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 86,950 \text{円/t} - 124,480 \text{円/t} \\
 &= \Delta 37,530 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(100円未満切り捨て)} \\
 &= \Delta 37,500 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 調整額 (1 m<sup>3</sup>あたり) の算定 (平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき)

$$\begin{aligned}
 \text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.071 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= \Delta 37,500 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.071 \text{円} \times 1.10 \\
 &= \Delta 29.2875 \text{円/m}^3 \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点第3位以下の端数切り上げ)} \\
 &= \Delta 29.29 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.0781円 (0.071円に1.10 (1+消費税率) を乗じた値) 調整します。

$$\begin{aligned}
 \text{政府支援を踏まえた調整額} &= \Delta 29.29 \text{円/m}^3 - 6.00 \text{円/m}^3 \\
 &= \Delta 35.29 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり△35.29円 (税込) 調整します。
- 2026年3月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり13.56円 (税込) の引き上げとなります。